

奥州支部だより

第37号

令和8年2月発行

公益社団法人岩手看護協会

奥州支部長 佐藤 智恵美

■令和7年度「地域別懇談会」及び「看護管理者懇談会」■

奥州支部長 佐藤 智恵美

12月6日(土) 令和7年度「地域別懇談会」及び「看護管理者懇談会」が総合花巻病院の佐藤記念ホールで行われました。

地域別懇談会では、令和7年度重点事業報告を受け、上半期支部活動の報告を行いました。その後に支部活動における課題・組織基盤強化における要望等が話し合われ、各支部における研修のあり方や、会員数減少等の課題を情報共有することができました。

看護管理者懇談会では、ナースセンターの事業報告を受け、各病院の看護管理者から自施設の現状と要望について懇談しました。

今回、沢山の事を情報共有できたことで、今後の看護の質向上、看護職のプレゼンスが高められるよう今後も取り組んでまいります。



■「よさってクラブ」に参加して■

県立江刺病院 看護科 山内 千裕

奥州市江刺伊手の営農センターで毎週水曜日に開催されている「よさってクラブ」に参加し、血圧測定、骨量測定、健康相談を行いました。多くの方が血圧管理や日常生活に関する不安や疑問を持っており、相談後には「安心したよ」「参考になったよ」という声が多く聞かれました。

初めての参加でしたが、笑顔が素敵で元気いっぱいの皆さんに温かく迎えていただき、いろいろなお話ができ、楽しく活動することができました。またこのような機会があれば、地域の皆様のお役に立てるよう参加したいと思います。



■研修会の開催■

県立胆沢病院 看護科 鈴木 千賀



今年度2回目の支部研修会が9月19日(金)水沢地区センターにて開催されました。講師に県立胆沢病院 感染管理認定看護師の吉田裕子氏を迎え、「病院・施設での感染症対策の基本的な考え方」についてご講義いただきました。コロナ、インフルエンザの感染拡大が懸念されるなかで、感染対策の基本、標準予防対策の重要性について改めて知ることができました。

日々の業務のなかで、感染対策の徹底はもちろん、感染症に関する正しい知識をもち、状況に応じた適切な判断ができるよう今回の講義を現場に活かし、感染拡大防止に努めていきたいと思います。



■～心のバトン～■

奥州市国民健康保険まごころ病院 看護科 松好 恵梨

私にとって看護師は小さい頃からの夢でした。夢が現実となり正直、希望していた訳ではありませんでしたが、縁あって産婦人科で10年以上勤務することになりました。たくさんの経験ができ、多くの学びがありましたが看護師としてこのままでいいのか？と考える機会が増えてきて、大きな不安はありましたが退職を決め、2年前からまごころ病院に勤務しています。

退院後を考えて看護の提供が必要なことはどの科であっても同じですが、家族の介護力や退院先が自宅とは限らないこと、ADLの変化、そして多職種との連携など、疾患だけではない状況把握の重要性、看護に活かす難しさを感じています。まだまだ未熟で指導してもらうことが多く、感謝と言う言葉では足りません。一日でも早く追いつけるよう、これからも日々努力していきたいと思います。

